

R7 年度 第 4 回南区まちづくり懇話会のフィードバック

① 南区公式 Instagram について

2 月 9 日時点のフォロワーは 610 人、地域の魅力やイベント情報以外にも、暮らしに役立つ情報や防災・子育てに関する情報なども発信して、さらにフォロワーが増えていくように期待したい。

（総務企画課）

前回懇話会（2.9 時点）のフォロワー数は 610 人、現在（5.26 時点）のフォロワー数 3,744 人となっている。フォロワー数増加と認知度向上のための業務委託（462 千円）を行った。具体的な内容としては、PR 動画を作成し、広告配信。この期間にフォロワーが約 1,000 人増加した。その後、フォロワーへのインセンティブ（南区栽培のいちごプレゼント）を活用したキャンペーン投稿を実施し、さらにフォロワーが 1,800 人ほど増加した。

今年度も継続的にイベントの告知・報告、暮らしに役立つ情報や魅力発信、などを継続的に発信する。

直近では、保健こども課と連携し、校区ごとの子育てサークル紹介を始めており、子育てサークル公式 LINE への登録者数が増えたとの報告が上がっている。

② まち歩き手帖の更新について

ホームページで公開されているまち歩き手帖を使って歩いてみた。マップに載っているが今はもう存在していないお店などもあった。マップの更新については行われているのか。

（総務企画課）

ご指摘いただいた件については、その後、掲載内容の現状確認を行い、既に閉店・移転している店舗等の情報も含め、マップ全体の見直しを実施した。その結果、最新の状況に即した内容となるよう修正を行い、更新は完了している。

今後についても、今回のようなご意見を踏まえ、掲載情報の定期的な点検・更新に努めるとともに、利用される皆様にとって分かりやすく正確なマップとなるよう、引き続き改善に取り組んでまいる。

③ 熊本地震 10 年関連事業について

3 つの会場で実施する今年度のイベントについて、市全体としては 4～5 月に集中して行うと聞いているが、南区としては期間をずらしながら実施するのか。こういった内容になる予定なのか。

【南区 de 学ぼうさい ～復興 10 年の絆～】

担当課	実施時期	場所	計画案
総務企画課	10月上旬	・南区役所 ・アスパル富合 ・雁回館	南区内婦人会等による炊出し訓練、親子で防災食作り、防災グッズ手作りブース、災害体験ブース（VR【消火器】体験、煙体験、避難所体験等）を通し、防災についての意識向上を図る。また、南区在住防災士等による防災講演や震災当時のパネル展示を行い、震災当時を振り返る。さらに、フレイル予防、介護予防のために避難所で取り組むことのできる体操や口腔体操、栄養の注意点などを啓発する。
	12月頃	益城町の 布田川断層 地域共生センター カナル	防災バスツアーを実施し、県内の震災遺構などを巡り、語り部から発災時の様子や被災状況、規模や痕跡等について学ぶ。また、実際に防災食の調理・試食を体験するとともに、ローリングストックに関する説明を受けることで、日頃からの備えに関する知識を習得する。
幸田 まちセン	10月中旬	幸田まちセン 敷地内	防災意識の向上と地域コミュニティの活性化を図ることを目的とした取組と体験型イベント（1日）の開催を予定しており、企画内容については、地域住民や団体、学校や企業の皆様と連携した準備を進めている。 ＜イベント内容（調整中）＞ オリジナル「防災かるた」大会（管内小学校で標語を作成）、車中泊体験、マルシェ、炊き出し体験、ボッチャ体験会、学生ボランティアによるワークショップなど
飽田 まちセン	2・3月頃	飽田まちセン 敷地内	こどもから大人まで楽しみながら防災を学べる体験型イベント（1日）の開催を予定しており、詳細な内容については、今後、地域の防災士の方々の意見を踏まえながら決定してまいる。 ＜体験型イベント(例)＞ VR 消火体験、水圧体験、防災食調理、写真洗浄、避難所体験、熊本地震写真パネル展示、煙体験 など

④ 熊本地震 10 年関連事業の広報について

せっかく冠をつけてイベントを行うのであれば、情報発信にも力を入れて、Instagram 投稿の 1 つのテーマとして、防災に関するショート動画などを少しずつ上げてはどうか。

（総務企画）

南区 Instagram、熊本市公式 LINE 等を通じて情報発信を行うとともに、関係者等とも連携を図り、PR していきたい。

⑤ **地域と企業のマッチング事業について**

令和 8 年度事業計画に含まれている地域と企業のマッチング事業について、具体的に決まっていることがあれば教えていただきたい。

(総務企画課)

【資料 2】「南区つながるまちづくり事業（仮称）」について 参照